

会 議 録

会議名称	令和3年度 第1回座間市子ども・子育て会議		
日時	令和3年10月29日（金） 10時～11時30分		
場所	サニープレイス3階 多目的室		
出席委員	阿部委員、飯田委員、◎大下委員、小澤委員、加藤委員、田邊委員、長本委員、○飛田委員、松本委員、三原委員、山手委員		
事務局	子ども未来部長、子ども政策課、子ども育成課、保育課、青少年課、健康づくり課		
会議の公開可否	■公開 □一部公開 □非公開	傍聴者数	0人
次第	1 開会 2 諮問 3 議題 (1) 令和2年度座間市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価について ① 令和2年度事業実施報告について ② 新・放課後子ども総合プランに基づく取組の評価報告について ③ 地域子ども・子育て支援事業の評価報告について ④ 教育・保育事業の利用実績報告について (2) その他 4 閉会		
配布資料	・資料1 第2期座間市子ども・子育て支援事業計画 令和2年度事業実績報告書 ・資料1－2 第2期座間市子ども・子育て支援事業計画 令和2年度事業評価のまとめ ・資料2 新・放課後子ども総合プランに基づく取組の評価報告書 ・資料3 地域子ども・子育て支援事業の評価報告書 ・資料4 教育・保育事業の利用実績報告書 ・資料5 今後の保育園整備について		
1「開会」 子ども未来部長より委員へ挨拶をした。			
2「諮問」 座間市子ども子育て会議規則第2条により、子ども未来部長から大下会長へ諮問書を代読した。			
3「議題」 子ども子育て会議委員13名中11名が出席し、座間市子ども・子育て会議規則第5条第2項により会議が成立。 資料を確認後、座間市子ども・子育て会議規則第5条第1項により大下会長が議事を進行			

議題（１）令和２年度座間市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価について

①令和２年度事業実施報告について

○事務局（子ども政策課）

※資料１－２「第２期座間市子ども・子育て支援事業計画 令和２年度事業評価のまとめ」を説明した。

②新・放課後子ども総合プランに基づく取組の評価報告について

○事務局（青少年課）

※資料２「新・放課後子ども総合プランに基づく取組の評価報告書」を説明した。

○委員

現在の週２回の活動について、回数の増加を検討するとあるが、どのくらい増やすのか。

○事務局（青少年課）

平成２８年、平成２９年度開設の学校から順次、週３回の活動を目標としている。

③地域子ども・子育て支援事業の評価報告について

○事務局（子ども政策課、保育課、健康づくり課、子ども育成課）

※資料３「地域子ども・子育て支援事業の評価報告書」を説明した。

○委員

一時預かり事業（幼稚園）について、すべての園が市から補助を受けているのか。

○事務局（保育課）

県からの助成を受けている園もある。

○委員

事業の評価コメントで「教育の前後に一時的に保育を必要とする世帯の負担を軽減することができた」とあるが、県からの助成を受けている園については教育時間の前は補助対象とならないため、教育の前後の負担軽減となっていないのではないのか。

○事務局（保育課）

事業の評価となるため、一時保育事業が保育を必要とする世帯の負担を軽減しているという評価に誤りはないと考えるが、県からの補助を受ける園と市からの補助を受ける園で補助基準が異なることは市も把握している。

○委員

一時預かり事業（幼稚園）について、在園時を対象とあるが在園時以外は利用できないのか。

○事務局（保育課）

幼稚園Ⅰ型がほぼ在園時のみのため、このような表現にしている。

○委員

コロナの関係で一時保育の定員にあぶれてしまったという話を聞いたがどう考えているか。

○事務局（保育課）

在園児を守りたい施設長の判断も理解できるが、市として認可している以上はなるべく受け入れてほしいと考えている。

○委員

養育支援訪問事業について、養育支援が必要な家庭が減少したということだったが、見えてこないだけで支援が必要な家庭は増えているのではないか、また、延長保育事業と病児保育事業で「子育て世帯のニーズ」という表現について、具体的にどういったものなのか。

○事務局（子ども政策課）

養育支援訪問事業は家事育児支援員を派遣する事業だが、一般的な子育てサービスでは対応できない家庭や養育能力が低いことにより手続きできない家庭に派遣しているが、外出自粛や保護者のテレワークといった生活様式の変化によって、養育環境が悪化する要因がコロナ禍によって減ったと分析している。

ただし、コロナ禍によるストレスで心配な家庭は増えていく可能性はあるが、この事業に限って言えば養育が必要な家庭が減少したと認識している。

○委員

コロナ禍による良い面があることはわかったが、環境が悪くなっている家庭もあると思われるがどう考えているか。

○事務局（子ども政策課）

昨年の児童虐待件数は増えており、コロナと無関係とは考えていないが、国がアクションプランを示す前から、今まで以上に注意深く対応しており、引き続き児童虐待の問題について対応していきたい。

○事務局（保育課）

延長保育事業に関するニーズは、多様な勤務形態に対応してほしいというニーズがあると認識しており、引き続き対応していきたいと考えている。

病後児保育については、保護者が自分で児童を看たいところ、看病できない事情があるため、一時的に保育してほしいというニーズがあると認識している。

○委員

多様な働き方が進む中で、24時間労働する方もいるが、夜間の労働者に対する保育について考えていく必要があると感じている。

○事務局（保育課）

了解した。

○委員

養育支援訪問事業の質疑応答で、保護者の養育環境が悪化する要因がコロナ禍によって減ったという説明があったが、実際にそういった声があったのか。

○事務局（子ども政策課）

子育て支援センターでそういった意見があったと聞いている。

○委員

私のところには逆の声もあったと聞いているが市は聞いていないか。

○事務局（子ども政策課）

そういった声があることも把握している。あくまでも養育支援訪問事業の対象が減ったことについての分析としての説明である。

○委員

では虐待問題全体として、どのような対応していくのか

○事務局（子ども政策課）

2年連続広報ざま1面で虐待について広報する、昨年はコロナ禍でも虐待防止講演会を実施するなど、虐待に気づく機会を作っている。また、子育て支援センターで利用者支援事業（基本型）という相談事業を新たに開始しており、相談の場を充実させている。

要保護児童対策協議会で各関係機関にも今まで以上に注意してみていくように確認し合っている。また、心配な家庭への訪問や電話連絡を増やすなど対応を強化している。

○委員

自分から助けを求められない方について、どう考えるか。

○事務局（子ども政策課）

コロナ禍で換気のために窓を開ける家庭が増えたためか、通報件数が増えている。これをきっかけとし、早期に発見したいと考えている。

○委員

一時預かり事業（幼稚園）について、計画に比べて実績値が低いが、決算額は予算額より高いのはなぜか。

○事務局（保育課）

支援が必要な児童を預かる場合の補助が加算されたため、利用人数は計画より減ったが、支出額は増えた。

○委員

それでは来年度の支出額はかなり増額される見込みということか。

○事務局（保育課）

量の見込みは市の期待値からの数値なので、実績値と乖離が出る。幼稚園の預かり保育の利用者が増えている実感があると思う。

○委員

支出額が大幅に増額になることはないということか。

○事務局（保育課）

お見込みのとおり。

④教育・保育事業の利用実績報告について

○事務局（保育課）

※資料4「教育・保育事業の利用実績報告書」を説明した。

○委員

1～2歳の待機児童が多いということだが、市が保育園を増設すると、少子化の今、幼稚園と児童の取り合いがおこるため、0～2歳を保育園、3歳以上については幼稚園というような役割分担ができないか。

○事務局（保育課）

市としても0～1歳児の待機児童を解消するために、小規模保育等の整備を行い、幼稚園と連携したいと考えている。幼稚園が小規模保育を開始する例もあるため、検討してほしい。

議題（2）その他

○事務局（保育課）

※資料5「今後の保育園整備について」を説明した。

○委員

保育園施設を増やしているが、保育士の数や質は確保できるのか。

○事務局（保育課）

保育園で働きながら資格が取得できる制度や、地方の保育士の家賃を補助する制度を活用して数を確保しており、研修費を補助することや、支援を必要とする児童にどのように対応するか講習会を実施し、質を確保している。

○委員

座間市民のために建設した保育園を他市民ばかりが利用するようなことが無いようにしてほしい。

○事務局（保育課）

現在定員を20%超えて児童を預かることができる特例があり、多くの園が活用している。今後は定員以内になることを目指して整備したい。

○委員

座間市の計画に対する実績や評価をしているが、県内や、全国的に見たときにどうなのか。

○事務局（保育課）

令和3年4月1日時点で待機児童は県内で一番多い。

○委員

保育士を対象にした支援を必要とする児童にどのように対応するか講習会を実施していると説明があったが、幼稚園や教育委員会も対象にしたものも検討してほしい。

○事務局（保育課）

承知した。

○委員

オンライン講座だと、時間が有効に使えるためおすすめしたい。

○会長

そのほかに意見、質問はあるか。

なければ、本日予定していた議事は終了とする。

4「閉会」

○事務局（子ども政策課）

次回の会議は、令和4年2月もしくは3月開催する。

議題は「教育・保育の利用定員について」を予定している。